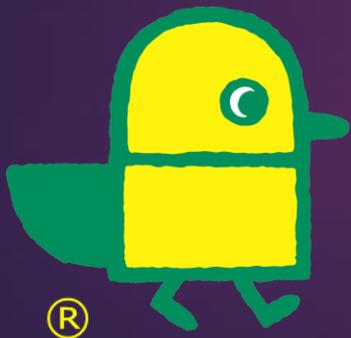




令和4年（2022年）度 —自己評価アンケート結果—



学校法人練馬みどり学園 田柄幼稚園

2022年度自己評価アンケート実施の流れ

1. 「自己評価票」配信 2023年1月18日
2. 「自己評価票」回収締切 2023年2月10日
3. 「自己評価票」配布対象 田柄幼稚園正規職員
23名（理事長除く）
4. 「自己評価票」回収率 100%
5. 「自己評価票結果」職員対象総括と考察 2023年3月8日
6. 自己評価・学校関係者評価委員会 2023年3月14日
7. アンケート結果の公表（HP掲載）

① 教育・保育計画の編成と実施に関する評価

1. 教育（保育）目標について

- ・左寄り4段階評価枠
A, B, C, D
- ・右寄り無回答枠

3

内 容	回答数					
		A	B	C	D	無回答
(1)目標は、本園の理念や特色を反映しているか。	23	12	11	0	0	
	%	52.1	47.8	0	0	
(2)目標は幼児の実態を踏まえたもので、シラバス（実施計画）に反映されているか。	23	11	12	0	0	
	%	47.8	52.1	0	0	
(3)目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	23	6	17	0	0	
	%	26.0	73.9	0	0	
(4)目標は、前年度のよい点や反省点を生かしているか。	23	9	13	1	0	
	%	39.1	56.5	4.3	0	
(5)目標は各学年や担当職員で検討され、かつ全園で共通理解を図られているか。	23	8	14	1	0	
	%	34.7	60.8	4.3	0	

2023/04/01

自己評価・学校関係者評価委員会

○意見・改善策

- ・学年の目標は他学年と共有し、全園で全園児見守る体制を強化していく。
- ・非正規職員の方や職務によっては出勤時間が異なる、また、職員会議に参加できないので、なかなか共通理解が図れないところがある。昨年度に比べ、メッセージャーなど活用し、伝えることはできたが、共通理解できたかは難しい。今後、学期に1回など定期的に集まる機会を持ち、理解を深めていきたい。
- ・にここ教室の充実を図りたい。
- ・満3歳児学年は、昨年度の反省を生かしながら、今年度の活動を進めていった。内容についても、今後も適切かどうか検討しながら進めていくようにする。など

2. 教育（保育）カリキュラムについて

内 容	回答数	評 価				
		1	2	3	4	5
(1) 幼児の実態や発達段階に即してシラバス（実施計画）を作成しているか。	23	10	11	0	0	0
	%	43.4	47.8	0	0	0
(2) 『幼稚園教育要領解説』（文部科学省 平成30年3月）に基づく援助・支援を適切に行っているか。	23	7	13	2	1	0
	%	30.4	56.5	8.6	4.3	0
(3) 環境構成を意識した教育に配慮し、内容は常に工夫しているか。	23	8	12	2	0	1
	%	34.7	52.1	8.6	0	4.3
(4) 教材や用具は、常に適切に活用しているか。	23	7	12	3	0	1
	%	30.4	52.1	13.0	0	4.3
(5) 評価結果を基に、教育の改善に努めているか。	23	8	14	0	0	1
	%	34.7	60.8	0	0	4.3

○意見・改善策

- ・その年の園児によって違うので、毎年見直してシラバスを作成している。
- ・教材等を精査し、管理体制を強化していく。
- ・週案作成のさい、「幼稚園教育要領解説」を見直しながら、適切な指導がされているか確認するようにしている。
- ・年度末に次年度に向け、学年間でシラバスの見直しを実施している。
- ・前年度の学年で行っていたことを引き継ぎながら、発達段階を踏まえて内容を検討したい。など

3. 教育（保育）時程と週報

内 容	回答数	評 価				
		1	2	3	4	5
(1) 1日の流れ(デイリーカリキュラム)は現行でよいか。	23	6	14	0	0	3
	%	42.8	60.81	0	0	13.0
(2) 週報は適切に記載し、教育の進行に役立っているか。	23	10	10	0	0	3
	%	43.4	43.4	0	0	13.0

○意見・改善策

- ・各学年の主任は当該学年の週報を確認し、園長は全学年の週報に目を通し、週の初めにコメントしている。学年毎に毎週末に反省会や次週への見通しなどを話し合うとよい。
- ・教育の振り返りはもちろんのこと担任欠席のさい、学級をどのように運営してきたか分かり、大変役立った。
- ・週報のフォーマットや記録の在り方について毎年確認し、園児の教育に活かせる実践的な内容に努めたい。
- ・入園に向け、園生活に安心して取り組める内容で進めていきたい。
- ・週案を元に担任間で確認をしたり、園児の様子を見て声をかけ合ったりしながら教育を進めている。など

4. 年間行事について

内 容	回答数	評 価				
		1	2	3	4	5
(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	23	8	15	0	0	0
	%	34.7	65.2	0	0	0
(2) 行事には適切なねらいが設けられ、計画や実施に十分生かされているか。	23	9	13	1	0	0
	%	39.1	56.5	4.3	0	0
(3) 幼児の活動範囲を明確にしたうえで社会性（自発・自律・自立）に配慮した実践的な活動か。	23	7	14	1	0	1
	%	30.4	60.8	4.3	0	4.3
(4) 計画・実施・評価・改善（PDCAサイクル）の体制をとっているか。	23	4	15	3	1	0
	%	17.3	65.2	13.0	4.3	0
(5) 保護者の願いや意見に配慮しているか。	23	7	16	0	0	0
	%	30.4	69.5	0	0	0

○意見・改善策

- ・とくに大きな行事（三大行事など）の様々な決定事項は係（委員会）だけでは決めきれない内容もあるので、場合によっては相談もふまえて、会議（主任会議など）を必要とする場合も考えられる。
- ・今年度、防災安全管理委員会での活動を年間通して行ってきたが、過去のデータを参考に実施計画を作成することはできた。
- ・コロナ禍で工夫して行事を実施したことで、今までと違った点が見えたことはよかったが、内容が簡素化された部分があるので、これからまた、具体的に内容を練り直す必要がある。
- ・感染状況を見ながら、行事内容を検討し安全面に配慮しながら実施することができたのではないかなど

内 容	回答 数	評 価				
		1	2	3	4	5
(1) 能率的かつ合理的で風通しのよい運営組織になっているか。	23	3	14	6	0	0
	%	13.0	60.8	42.8	0	0
(2) 職務内容は明確で、協働できる体制か。	23	3	17	2	1	0
	%	13.0	73.9	8.6	4.3	0
(3) 職員の配置は概ね適材適所か。	23	2	15	4	2	0
	%	8.6	65.2	17.3	8.6	0
(4) 係や仕事の分担および割り当ては適切か。	23	2	15	5	1	0
	%	8.6	65.2	21.7	4.3	0

○意見・改善策

- ・ 職員の配置は職員の事情やメンタル等に配慮し、適切に対応していく。
- ・ 係分担等は適切かと感じるが、一人ひとりの意識がもっと高まることで、さらによりよい体制となるのではと感じる。職務内容についても、引継ぎの内容を理解したうえで、職務に当たるべきかと考える。
- ・ 時間帯によっては人手がギリギリの中でカバーしているので、互いにそのことを理解し、気持ちよく助け合える環境にしていきたい。
- ・ 自分の意見を建設的に率直に発言できるよう、職員一人ひとりがまず外部研修に参加する等自己研鑽を積むことが大切だ。
- ・ 年々、様々な事情（病気、介護、育児等）で欠勤、遅刻、早退する職員が増加傾向にある。ゆとりある人的配置や欠勤者のカバーをした職員への配慮など、どの職員も気持ちよく働ける環境になってほしい。
- ・ それぞれの職員が意欲的にやりがいを持ち、長く勤められる職場として、職員の評価や係分担（割り当て等）を見直していただけるとありがたい。など

2023/04/01

自己評価・学校関係者評価委員会

内 容	回答数	評 価				
		1	2	3	4	5
(1) 各種会議は適切かつ効率的な運営か。	23	9	12	2	0	0
	%	39.1	52.1	8.6	0	0
(2) 職員はそれぞれ全体における立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	23	1	18	4	0	0
	%	4.3	78.2	17.3	0	0
(3) 打合せの回数、時間、内容は適切か。	23	6	14	2	0	1
	%	26.0	60.8	8.6	0	4.3

○意見・改善策

- ・会議では勤務経験の浅い先生からも意見や確認事項など出るとよい。発言する先生は決まっている。
- ・職員会議は迅速に行うことができている。よって時間を短縮してもよいかと思う。
- ・職位や職務理解を進め、職員はだれであれ経営全体を見通す能力を身に着ける必要がある。
- ・各所に事前確認することで、会議がスムーズに進むようになった。など

学級経営

内 容	回答数	評 価				
		1	2	3	4	5
(1)学級の経営目標は、教育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	23	8	12	0	0	3
	%	34.7	52.1	0	0	13.0
(2) 学級の経営目標は、幼児の実態に即して設定しているか。	23	9	11	0	0	3
	%	39.1	47.8	0	0	13.0
(3) 学級の経営目標の短期・長期のねらいは適切に設定され、実行されているか。	23	7	13	0	0	3
	%	30.4	56.5	0	0	13.0
(4) 学級経営上、同年齢および異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	23	3	13	4	0	3
	%	13.0	56.5	17.3	0	13.0
(5) 学級経営に、意義や趣旨を理解した共同（チーム）活動を取り入れているか。	23	5	13	2	0	3
	%	21.7	56.5	8.6	0	13.0
(6) 学級経営の評価や資料（諸記録）は集積されているか。	23	6	13	1	0	3
	%	26.0	56.5	4.3	0	13.0

○意見・改善策

- ・コロナの厳重注意下だったので、他学年との交流がほとんどできなかった。落ち着いたら、交流を増やしたい。
- ・「気になる園児」がいるなか、担任のクラス運営能力の向上は必須である。園として支援を惜しむことなく提供できるよう努める。
- ・主任会議で各学年の幼児の実態を伝え合えるようになってきており、園全体で園児を見ることができるようになりつつある。
- ・園庭遊びでは、他クラスや他学年の交流が見受けられた。など

内 容	回答数	評 価				
		1	2	3	4	5
(1) 学級経営に有用な保健対策を具体的に講じているか。	23	8	14	0	0	1
	%	34.7	60.8	0	0	4.3
(2) 避難訓練や交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか。	23	10	12	0	0	1
	%	43.4	52.1	0	0	4.3
(3) 健康的で安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭と連携を取っているか。	23	11	9	1	0	2
	%	47.8	39.1	4.3	0	8.6
(4) 食後の歯磨きや手洗い、うがいなど健康面への配慮と指導は適切か。	23	10	10	0	1	2
	%	43.4	43.4	0	4.3	8.6
(5) 幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	23	8	15	0	0	0
	%	34.7	65.2	0	0	0
(6) 防犯、防災の指導は適切に行われているか	23	11	12	0	0	0
	%	47.8	52.1	0	0	0
(7) 不審者等への対応は万全か。	23	5	14	4	0	0
	%	21.7	60.8	17.3	0	0

○意見・改善策

- ・ 2022度、通園バスを利用する園児の悲惨な事故が社会の耳目を集めた。本園は危機管理意識を高め、園児らにすぐ身を守る訓練（クラクションを鳴らす、ほか）を実施した。今後とも安全管理と訓練に工夫を凝らしていく。
- ・ 本園利用者に「送迎カード」必携を徹底した。
- ・ 家庭との連携を図ろうとするも、理解を得ることが難しい場合もあり、頭を悩ませることがあるため、相談できる環境が必要である。
- ・ にこにこ教室は利用人数が増え、今後さらに保護者対応が大切になる。家庭と学級とのさらなる連携が必要である。
- ・ 小門が開けたままになっていることが多い。主に課外教室利用と、にこにこ教室利用者。
- ・ 季節に合わせて手洗いうがいの大切さを指導したり、紙芝居を通して保健関係の情報を伝えたりしている。など

6. 研究・研修 園内研究・研修

内 容	回答数	評 価				
(1) 園内研修の計画と運営は適切か。	23	6	11	3	0	3
	%	26.0	47.8	13.0	0	13.0
(2) 研究テーマを持って幼児教育に取り組んでいるか。	23	7	13	1	0	2
	%	30.4	56.5	4.3	0	8.6
(3) 研究課題は、教育目標の具現化に繋がるものであるか。	23	7	13	1	0	2
	%	30.4	56.5	4.3	0	8.6
(4) 研究を実践し、幼児理解を深めているか。	23	7	12	2	0	2
	%	30.4	52.1	8.6	0	8.6
(5) 研究や研修の成果を日常の教育活動および幼児の育ちに反映させているか。	23	7	13	1	0	2
	%	30.4	56.5	4.3	0	8.6

○意見・改善策

- ・2022度、園長は練馬区私立幼稚園教育研修会の担当理事（言葉1〔視聴覚言語班〕）拝命した。職員は各自の専門や興味関心に基づいて班別研修に参加した。
- ・毎年開催してきた魅力行動学会研究会はコロナ禍の為、中止した。
- ・2022度は、満3歳児学年の研究（リトミック）を行った。3歳児学年とは活動内容が違うため、学年で分けて行って良かった。2021年度は、満3歳・3歳児学年で一緒に行った。
- ・幼児の実態に合わせた指導を無理なく行うことができた。
- ・教師の真似をしながらリズム遊びを楽しむ園児の姿が見られた。
- ・昨年度の研究を経て得たものをさらに広げ、次の段階へ繋げていくことができた。など

園外研究・研修

内 容	回答数	評 価				
		1	2	3	4	5
(1) 各種研究会、研修会、講習会に積極的に参加しているか。	23	5	12	2	4	0
	%	21.7	52.1	8.6	17.3	0
(2) 各種研究会、研修会、講習会の内容は全園に還元しているか。	23	3	12	4	4	0
	%	13.0	52.1	17.3	17.3	0
(3) 学会活動に参加しているか。 ※魅力行動学会研究会：毎年7月第二土曜日@本園開催	23	5	8	2	7	1
	%	21.7	34.7	8.6	30.4	4.3
(4) 園内外の研究会や研修等で発表や講師を務めたことはあるか。	23	2	3	4	14	0
	%	8.6	13.0	17.3	60.8	0
(5) 本園の特別研究費（10,000円）を利用したことはあるか。	23	1	3	5	14	0
	%	4.3	13.0	21.7	60.8	0

○意見・改善策

- ・コロナも落ち着いてきているので今後、新人教諭を誘って参加しようと思う。
- ・園長は研究費10,000円を設置し、活用を呼び掛けているが、まだ利用者は少数である。今年度は申請ゼロ。来年度は一層の活用を呼び掛けていく。
- ・学級経営補助がいる時間など利用して、さまざまな立場の職員が研修に進んで参加し、知見を広げられるとよい。
- ・外部研修の参加について、決まった職員だけが参加する傾向にあるので、園の方針として、職員のスキルアップを目指すならば、年間の研修参加回数（時間）の目安を定めてはどうか。
- ・園外研修で学んだ「パネルシアター」をいまだ私自身が実践できていない。春休みに準備して来年度より実施する覚悟である。など

2 開かれた幼稚園づくりに関する評価

1. 情報の取扱い

内 容	回答数	評 価				
		1	2	3	4	5
(1) 幼児や保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っているか。	23	13	10	0	0	0
	%	56.5	43.4	0	0	0
(2) 公文書の收受や発送、処理等適切に行っているか。	23	11	12	0	0	0
	%	47.8	52.1	0	0	0
(3) 各文書は適切な方法で作成し、的確に処理しているか。	23	10	13	0	0	0
	%	56	56.5	0	0	0

○意見・改善策

- ・本園規則規約や「教育と運営環境の保全」など新たに作成した。ほかに、これまでのマニュアルを改正改善するなどした。
- ・今年度も職員の文書作成能力の向上に努めた。
- ・にここ教室では、教室内をはじめ、再度見直していきたい。
- ・訂正することが多くあったので、ポイントを見極め必要な確認をする習慣をつけていきたい。
- ・書類保存スペースが圧倒的に不足しているため、書類の保存方法などに限界が出ている。など

2. 施設設備

内 容	回答数	評 価				
		1	2	3	4	5
(1)施設や設備の安全に関わる点検は計画的に行い、 都度記録しているか。	23	13	10	0	0	0
	%	56.5	43.4	0	0	0
(2) 遊具・用具等は活用しやすいように整理し、保管 しているか。	23	8	14	1	0	0
	%	34.7	60.8	4.3	0	0
(3) 安全な環境を維持するうえで必要な部署や担当と 連携しているか。	23	8	14	1	0	0
	%	34.7	60.8	40.3	0	0
(4) 掲示板、掲示場所等は適切かつ効果的に活用して いるか。	23	5	15	3	0	0
	%	21.7	65.2	13.0	0	0

○意見・改善策

- ・新園舎建築計画が中止となり、本園の施設と園庭の修繕改良に目標を切り替えた。今後、よりよい施設経営を目指して園内の意見をまとめ、理事会に答申する。
- ・たまに期限が終了した掲示物があった。掲示板を常に見る習慣をつけたい。
- ・各教室は担任の先生たちによりきっちり整理されていると思う。一方で共有の教材置き場はすべてすぐに乱雑な状態になってしまう。5Sの専門家を呼んで研修することを提案したい。
- ・施設内で修理が必要な個所や危険が見受けられる場所は報告後、素早く対応してくださりありがたい。
- ・会議室横のスペース（画用紙などが置いてある場所）が少しずつ整理されてきており、以前より在庫の場所がわかりやすい。しかし、まだ使用できるものが上手く活用しきれていないように感じる。
- ・現在使用の安全点検表が令和2年度のものだったので、学年毎に内容確認し、遊具等の変更に対応できるものにしていきたい。など

3. 出納経理

内 容	回答数	評 価				
		1	2	3	4	5
(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	23	8	13	0	1	1
	%	34.7	56.5	0	4.3	4.3
(2) 年度初めに必要な予算を計上し、年度末に見直しているか。	23	5	11	5	1	1
	%	21.7	47.8	21.7	4.3	4.3
(3) 各学年・クラス等で年度末に使用品目を集計し、必要な部署等に報告や引継等しているか。それは、来年度の予算に生かしているか。	23	7	11	2	1	2
	%	30.4	47.8	8.6	4.3	8.617

○意見・改善策

- ・各学年主任は年度末に申請した教材費等の集計を行い、経年で費用の流れを把握している。引継ぎは適切に行われている。
- ・予算組みは行っていない。
- ・適正な支出の範囲内で収まっている。
- ・急ぎのものを頼まれることが多くなってきたので、注文日をあらかじめ設定させていただこうと思っています。など

4. 施設間交流・連携

内 容	回答数	評 価				
		1	2	3	4	5
(1) 他所の教育機関との年間交流計画は、教育目標や課題に添ったものになっているか。	23	4	15	2	1	1
	%	17.3	65.2	8.6	4.3	4.3
(2) 他所の教育機関等の在籍者等と触れ合うなかで 幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるよう、教育的配慮に基づいた援助や支援を行っているか。	2	6	14	1	1	1
	%	26.0	60.8	4.3	4.3	4.3
(3) 交流のさい、指導者や担当者どうしが打ち合せや事前・合同研修を行い互いの取り組みに対する理解を深め、援助に関する共通理解を図っているか。	23	6	13	2	1	1
	%	26.0	56.5	8.6	4.3	4.3
(4) 他園や小学校等の見学や参観等をとおして、幅広く教育理解に努めているか。	23	2	10	8	2	1
	%	8.6	43.4	34.7	8.6	4.3
(5) 日常的に他所と情報交換し、それを交流活動に生かしているか。	23	1	13	5	2	2
	%	4.3	56.5	21.7	8.6	8.6

○意見・改善策

- ・ここ数年はコロナ禍ということもあり、外部との交流が縮小化している。今後は状況を見ながらにはなるが、出来る範囲で外部との交流を大切にしたい。
- ・園長は田柄小学校と田柄第二小学校の評議員を務めており、交流と情報収集および活用に努めている。
- ・コロナ禍の為、地域との交流は減っているもしくははできない状況が続いている。本園行事のもちつき会などは地元の有志の協力を得て実施した。
- ・他園（保育園）との交流は安全に配慮して実施した。
- ・わくわく教室や満3歳児希望の増加を考え、子育て相談や入園前の相談など、職員はもちろん保護者同士が交流を持てる場が設けられるとよい。
- ・練私幼の班別研修に参加することで他園の先生方と交流できた。意見交換の場が設けられていてとてもよかった。
- ・近隣住民の方や来園者にはこちらから挨拶するように心がけている。
- ・近くに畑があり、年2回収穫体験させていただける環境があるのはありがたい。

など

5. 家庭や地域との連携

内 容	回答数	評 価				
		1	2	3	4	5
(1) 参観や見学希望者の来園を気持ちよく受け入れているか。	23	15	8	0	0	0
	%	65.2	34.7	0	0	0
(2) 保護者会（おひさまの会）との関係は良好か。	23	10	12	0	0	1
	%	43.4	52.1	0	0	4.3
(3) 保護者面談の希望に適切に応じているか。	23	13	9	1	0	0
	%	56.5	39.1	4.3	0	0
(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	23	5	13	2	3	0
	%	21.7	56.5	8.6	13.0	0
(5) 収穫体験の時期や内容は適切か。	23	13	9	1	0	0
	%	56.5	39.1	4.3	0	0
(6) 幼児の興味や関心に基づく教育設計として、地域社会の施設と交流しているか。	23	7	13	1	1	1
	%	30.4	56.5	4.3	4.3	4.3
(7) 隣接する小学校との交流は適切か。	23	6	11	4	1	1
	%	26.0	47.8	17.3	4.3	4.3
(8) 地域住民（住宅）への配慮は適切か。	23	7	13	3	0	0
	%	30.4	56.5	13.0	0	0
(9) 災害時の避難場所（田柄小学校、愛宕神社、エコファームヨシダ）等理解しているか。	23	11	12	0	0	0
	%	47.8	52.1	0	0	0

○意見・改善策

- ・教育実習生の受け入れは、養成校との協力関係からも人材育成に貢献する見地からも安全に配慮して実施した。
- ・保護者面談は第1学期は必須とし、それ以外は保護者の要望と本園からの働きかけなどにより実現している。
- ・近隣小学校の田柄小学校とは良好な関係にあり、避難訓練では避難先として利用している。
- ・収穫体験は天候に左右されることが多かったため、事前にいくつかパターンを考える必要がある。昨今の気象状況では6月末～7月上旬でも猛暑日になる可能性があることが分かったので、来年度の収穫体験時期は注意する必要がある。
- ・「しるでき®」は特別講座で収穫体験を入れたが、作物の栽培・収穫時期などよく検討したうえで実施したい。
- ・気になる園児など、定期的に面談する機会が増えた。今後も園全体で園児への理解を深め、援助や対応にあたりたい。
- ・おひさまの会とは今後も意見交換を活発に行い、園の教育活動の主旨をよりご理解いただけるよう努めてまいりたい。など

6. 子育て支援の推進

内 容	回答数	評 価				
		1	2	3	4	5
(1) 園内の施設、備品等、外部の希望者（団体）に利用を許可しているか。	23	12	10	0	0	1
	%	52.1	43.4	0	0	4.3
(2) 長期休業中、園児に対する特別教育支援プログラム（夏期教育、夏まつり、にこにこ教室教育プログラム等）を作成し、実施しているか。	23	12	11	0	0	0
	%	52.1	47.8	0	0	0
(3) 「幼小接続準備講座」など、保護者を対象とした学ぶ機会を設定しているか。	23	12	10	0	0	1
	%	52.1	43.4	0	0	4.3
(4) 教諭は、保護者面談（原則15分）の充実に努めているか。	23	11	10	1	0	1
	%	47.8	43.4	4.3	0	4.3
(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	23	9	12	1	0	1
	%	39.1	52.1	4.3	0	4.3

○意見・改善策

- ・気になる園児が増える一方で、私たちは専門家ではないため、保護者への伝え方が難しく、明確なことが言えない。専門の方に定期的に子どもたちを見ていただく機会を設けることで、専門機関の利用の勧めが円滑にいくのではないか。
- ・コロナ禍で行事の縮小や中止が増えたが、実行できることは工夫して行った。
- ・課外教室は閉鎖することなく、本園の安全基準を護って活動を継続している。
- ・「小学校準備講座」に田柄小学校校長がオンラインで登壇し、保護者（事前申込者対象）に必要な情報を提供することができた。
- ・保護者面談は原則として15分の間に終わるようにしてはいるが、より密に保護者と話す必要がある場合がほとんどである。
- ・子育て支援の拠点として未就園児や地域の子育て相談を積極的に行いたい。
- ・オンライン面談を導入することで保護者面談の選択肢が増え、小さいお子さんがいる保護者の方が利用されている。
- ・気になる園児や配慮の必要な園児に対して、学期ごとに巡回相談など継続なサポートや関連する機関とのつながりがあるとよい。など

7. 情報発信

内 容	回答数	評 価				
		満足	やや満足	満足しない	満足しない	満足しない
(1) 「園だより」や「れんらくアプリ」、 ホームページ等で本園の情報を適切かつ的 確に発信しているか。	23	12	11	0	0	0
	%	52.1	47.8	0	0	0
(2) 本園の行事（学事日程）や子育て 支援事業（預かり保育）等地域や児童 施設、小学校に周知しているか。	23	9	14	0	0	0
	%	39.1	60.8	0	0	0

○意見・改善策

- ・ 情報公開を旨とし、インスタグラムなども活用して情報発信している。HPの掲載事項は精査や改善が必要である。
- ・ れんらくアプリの配信時刻が守られていず、回数が頻繁にわたっている。
※原則 9時～17時配信
- ・ 本園ホームページは分かりにくく見づらい構成になっているので、コストはかかるが、専門の方にホームページの作成を依頼し、田柄幼稚園の魅力をアピールできるとよいと考える。
- ・ れんらくアプリは未読になっている家庭が多いので、イベントの紹介や、園以外の配信はツイッターを使うetc. など工夫したい。保護者が時間を確保できるよう、園からの書類や準備品などは軽減出来るとよい。
- ・ インスタグラム等で発信することで、幼稚園の最新の様子を知らせることができている。など

8. 外部評価

内 容	回 答 数	評 価				
		1	2	3	4	5
(1) 第三者評価（自己評価・学校関係者評価委員会） を導入し、施設運営に反映しているか。	23	9	12	2	0	0
	%	39.1	52.1	8.6	0	0
(2) 地域や保護者の意見を本園の運営に反映しているか。	23	9	13	1	0	0
	%	36.1	56.5	4.3	0	0
(3) 第三者評価の結果はホームページで公開しているか。	23	11	10	2	0	0
	%	47.8	43.4	8.6	0	0

○意見・改善策

- ・職員は保護者に真摯に向き合い対応していると思う。
- ・地域住民からは園児の声や埃、避難訓練時の音などへのご意見のほか、通園バスの運行についてご意見をいただいた。その都度確認し、改善を図っている。
- ・わくわく教室では、入会時にわくわく教室に期待することなどを記載できる欄を設け、活動内容に反映できるように取り組んでいる。
- ・学級経営補助の先生とゆっくり話をする時間がない。
- ・実習生が入る場合、そのクラスにずっとではなく、違う学年を経験した方が良いと思われれます。など

令和4年（2022）年度

自己評価の総括と考察

—自己評価アンケート結果—

アンケート結果は職員研修の場で園長が総括します。
職員の疑問や意見等に園長が解説するほか、
職員間で意見交換し、よい点を含め問題点や
改善点などを全職員が共有します。

令和5年度も何事も前向きに取り組んでまいります。

取り纏め協力：阿部 由美子

学校法人練馬みどり学園

田柄幼稚園 園長 古閑 博美

2023/04/01

自己評価・学校関係者評価委員会

